

会 告

第57回日本医療・病院管理学会学術総会のお知らせ（第三報）

第57回日本医療・病院管理学会学術総会を下記の通り開催いたします。是非、積極的にご参画くださいますよう、お願い方々、ご案内申し上げます。

学術総会長 伊藤 弘人

(独立行政法人 労働者健康安全機構 本部研究ディレクター)

■学術総会

会 期：2019年11月2日（土）、3日（日）、4日（月・祝）

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（新潟市中央区万代島6番1号）

テーマ：持続可能な地域医療を支える医療・病院管理学

学術総会ホームページでインタビュー・プログラムを更新中

<http://www.gakkai.co.jp/jsha57/>

11月2日（土）14：00～17：00

○ 市民公開講座

演題1：スマートウェルネスみつけの実現を目指して

久住 時男（見附市長、Smart Wellness City 首長研究会会長）

演題2：医師の働き方改革と地域医療について

丸山明則（新潟県医師会理事、平成クリニック院長）

演題3：世界の病院の動向から考えるこれからの医療

笈淳夫（日本医療・病院管理学会理事長）

演題4：奈良時代の働き方改革

馬場基（国立文化財機構奈良文化財研究所都城発掘調査部史料研究室長）

11月3日（日）・4日（月・祝）

○ オープニング（3日午前）

来賓挨拶・オリエンテーション

○ 特別講演（3日午前）

講演1：医療と介護のこれから

眞鍋 馨（厚生労働省老健局老人保健課課長）

講演2：佐久総合病院の分割再構築と今後の課題 伊澤 敏（佐久総合病院総括院長）

○ 特別講演（4日午前）

講演3：人口減少に適合した医療・介護の方向性：ケア・コンパクト・シティ構想を中心に

小黒一正（法政大学教授）

講演4：地域医療連携推進法人を含む医療政策の最近の動向について

天辰優太（厚生労働省医政局医療経営支援課政策医療推進官／

地域医療計画課・研究開発振興課併任）

○ メインシンポジウムⅠ（3日午後）

テーマ：高齢社会とこれからの医療における質の評価

座長：有賀 徹（労働者健康安全機構理事長）、野口英一（戸田中央医科グループ 災害対策特別顧問）

シンポジスト：

特定機能病院の評価の現状と今後の課題 小倉裕二（日本医療機能評価機構評価事業審査部開発課課長）

地域救急医療体制の質の評価：市民の受療行動支援に係る取り組みの質の評価

森村尚登（東京大学大学院医学系研究科救急科学教授）

日本政策投資銀行における病院へのBCM格付融資（仮題） 蛭間芳樹（日本政策投資銀行 BCM格付主幹）

リハビリテーション医療における質の評価 栗原正紀（一般社団法人是真会理事長）

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会[JRAT]代表

日本リハビリテーション病院・施設協会 名誉会長）

【参考】Healthcare BCP機能評価評価項目（version 1.0）[一般社団法人Healthcare BCPコンソーシアム]

- 1 地域における災害対策の基盤となる取り組み
- 2 地域における防災力の向上への支援
- 3 地区防災計画と地域包括ケアとの連動の把握と支援
- 4 医療機関の被災の程度に応じた地域としての方針の明確化

○ メインシンポジウムⅡ（3日午後）

テーマ：予防からみた持続可能な自治体の在り方と医療の役割

座長：久野 譜也（筑波大学教授）

シンポジスト（演題案）：

地に足ついたイノベティブな健康社会へ

荒井広幸（内閣官房参与）

社会課題を解決できるSmart Wellness Cityの必要性

久野譜也（筑波大学教授）

Smart Wellness 高石での成果と今後の方向性

阪口伸六（大阪府高石市長

経済産業省産業構造審議会メンバー）

都市交通と医療福祉の連携に向けて：エビデンスと事例 谷口綾子（筑波大学准教授

国土交通省都市局検討会委員）

○ 第57回学術総会特別企画（3日午後）

テーマ：地域経済循環分析からみた医療の役割

協力：山崎清、佐原あきほ（日本政策投資銀行グループ株式会社価値総合研究所）

○ 座談会：地域医療と医療・病院管理学（4日午後）

講師：染矢俊幸（新潟大学医学部長）

講師：内村直尚（久留米大学副学長）

○ シンポジウム（4日午後）

テーマ：持続可能な地域医療を支える「事業承継」

挨拶：中村 裕一（福祉医療機構理事長）

地域状況に適した経営戦略のあり方：金融機関との連携による病院再生の経験を踏まえて

羽田雅史（地域経済活性化支援機構 REVICヘルスケアチームリーダー）

これからの病院経営と求められる戦略について

本地央明（福祉医療機構経営サポートセンターチームリサーチアドバイザー）

- シンポジウム：病院機能評価を巡る新たなステージ（4日11:30～13:30）
 - テーマ：今、改めて問う：サーベイの質・サーベイヤーの質
 - 座長：寺崎仁（東京女子医科大学医学部医療安全科教授）、橋本廸生（日本医療機能評価機構常務理事）
 - 講師：大井克之（赤穂市民病院）、小田弘隆（新潟市民病院）、豊島宗厚（新津医療センター病院）
- Experts から学ぶ（4日午前）
 - 講師：有賀 徹（労働者健康安全機構理事長）
 - 講師：大道 久（日本大学名誉教授 JCHO横浜中央病院名誉院長）
- Talk together（3日午前）
 - テーマ：公的医療機関等の病院グループにおけるこれからの医療・病院管理機能
 - 講師：済生会保健・医療・福祉総合研究所（山口直人研究部門長）、日本赤十字社（富田博樹顧問）
全国厚生農業協同組合連合会（榛葉道尚参事）、労働者健康安全機構（佐藤朗理事）、他
- 教育講演
 - 3日午前：近藤正英（地域での慢性腎不全予防プログラムの医療経済学）
 - 3日午後：三木明子（医療機関におけるハラスメントの実態と対策）
 - 3日午後：仲元司（トーシンズ：劇団公演による双方向性啓発活動の試み）
 - 3日午後：平井啓（医療現場の行動経済学：患者と医療者のすれ違いのサイエンス）
 - 4日午前：谷道正太郎（国の統計データ利用オンサイト拠点の活用方法と統計データ利活用センター）
 - 4日午前：小西竜太（病院管理フェローシップ：病院CEOを育成する教育プログラム）
 - 4日午前：高橋昌（多職種連携による災害医療を統括・支援する社会人の人材育成）
 - 4日午前：村松公美子（「うつ」の評価）
- 委員会企画
 - 研究倫理委員会・編集委員会合同シンポジウム：学術論文作成に必要な研究倫理（4日午後）
 - 座長：川淵孝一（編集委員会）^a、上條由美（研究倫理委員会）^b
 - シンポジスト：
 - 臨床研究関連の指針・法律について 龍家圭（昭和大学臨床薬理研究所）
 - 研究倫理委員・査読者から見た論文投稿に至るまでに検討すべき課題
加藤憲（愛知淑徳大学健康医療科学部）^b
 - 論文投稿者の発表倫理について 飯島佐知子（順天堂大学大学院医療看護学研究科）^a
 - コンピテンシータスクフォース 教育研修委員会：今中 雄一、池田 俊也（3日午後）
 - 社会医学系専門医制度「指導者講習会」
 - 医療・病院管理のコンピテンシーとフェロー制度の構想について
 - シンポジスト：今中雄一（京都大学）、池田俊也（国際医療福祉大学）、
上條由美（昭和大学）、寺崎仁（東京女子医科大学）、廣瀬昌博（島根大学）
 - 国際委員会（福田 敬）：企画（4日午前）
- 例会ピックアップセッション（3日午前）
 - 第372回（2月）：医療におけるRPA（Robotic Process Automation）の活用—令和元年は医療RPA元年
担当：亀田義人（千葉大学）
 - 第378回（9月）：医療機関と地域包括ケアシステム
担当：馬場園明（九州大学）
 - 総論 馬場園明（九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座教授）

医療機関経営者の立場から 菊池仁志（医療法人財団華林会村上華林堂病院 理事長）
訪問看護ステーション管理者の立場から 竹山由子（九州がんセンター訪問看護ステーション 管理者）

○ 日本医学連合 合同シンポジウム（3日16：00-18：00）

医療政策・経営とビッグデータ解析

座 長：秋葉澄伯（鹿児島大学）、今中雄一（京都大学）

演 者：NDB大規模データ解析と活用（仮題） 満武巨裕（医療経済研究機構）

DPC大規模データ解析と活用（仮題） 石川ベンジャミン光一（国際医療福祉大学）

統合的大規模データ解析と活用（仮題） 今中雄一（京都大学）

○ 関連学術団体ジョイント企画（3日午前）

テーマ：医療・病院管理学の基盤機能

座 長：笈淳夫（日本医療・病院管理学会理事長）

講 師：上泉和子（日本看護管理学会）、中川肇（医療情報学会）、相馬孝博（医療の質・安全学会）

○ 関連学術団体ジョイントシンポジウム

日本医療情報学会ジョイント企画*：病院・地域において医療情報を専門とする組織と人材のあり方：
オンライン診療等、新たな医療提供の時代に（3日午後）

司 会：中川肇（第20回日本医療情報学会学術大会大会長）

勝山貴美子（日本医療・病院管理学会組織連携委員会委員長）

講 師：オンライン診療、行政の動向

根東義明（日本大学医学部社会医学系医療管理学分野教授）

連携テレビシステムを用いた診療支援、医学教育

井口清太郎（新潟大学大学院新潟地域医療学講座特任教授）

病院管理の視点からみた医療情報の利活用と人材育成

長谷川剛（上尾中央総合病院情報管理特任副院長）

医療CIO、オンライン診療等、国際動向（まとめ）

岡田美保子（医療データ活用基盤整備機構理事長）

医療の質・安全学会／新潟大学企画：医療安全・倫理（日本専門医機構認定共通講習：3日午後）

座 長：鳥谷部真一（新潟大学医歯学総合病院副院長/医療安全管理責任者/

医療安全管理部長・新潟大学危機管理本部危機管理室教授）

相馬孝博（千葉大学医学部附属病院医療安全管理部教授）

1. 医療安全管理講習会 14:30～15:30（時間厳守）／医療安全1単位

演題1 Diagnostic Error 総論 鳥谷部真一（新潟大学医歯学総合病院教授）

演題2 Diagnostic Error 各論 小松康宏（群馬大学大学院医学研究科教授）

2. 医療倫理講習会 15:30～16:30（時間厳守）／医療倫理1単位

演題1 医療安全管理者の関わり方 兼児敏浩（三重大学医学部附属病院教授）

演題2 医療安全における倫理的課題 相馬孝博（千葉大学医学部附属病院教授）

日本看護管理学会・リレー企画*：他職種へ上手に伝える（4日午前）

座 長：佐々木美奈子（東京保健医療大学教授）

前田樹海（第23回日本看護管理学会学術集会会長）

行動経済学会ジョイント企画：医療分野の行動経済学プロジェクトー意思決定のバイアスとナッジ
モデレータ：後藤励（慶應義塾大学 経営管理研究科） （4日午後）

医療分野での行動経済学の理論的な背景（仮題） 佐々木周作（京都大学経済学研究科講師）
自治体でのナッジプロジェクト（仮題） 新藤健（八王子市医療保険部成人健診課主査）
経済産業省におけるナッジプロジェクト・健康スコアリングレポートなどの取り組み（仮題）
小針孝夫（経済産業省経済産業政策局産業構造課係長）

日本医療経営学会ジョイント企画*：マーケティングマインドをもった医療連携人材育成

座長：高橋泰（日本医療・病院管理学会）、濃沼信夫（日本医療経営学会）（4日午前）

講師：地域医療連携を実践する医療経営士の育成

濃沼信夫（東北医科薬科大学医学部医療管理学教室教授）

当院における地域連携の活動についてー医療福祉連携士の活動を通じてー

斎川克之（済生会新潟病院検診センター副センター長）

院内職種間連携強化に向けた「チーム医療研修」への実践

住谷剛博（トヨタ記念病院 人材育成・CSGチーフエキスパート）

指定発言：武藤正樹（国際医療福祉大学大学院教授）

*組織連携委員会（勝山貴美子、米本倉基 他）

日本総合病院精神医学会ジョイント企画：病院内における総合医機能・リエゾン機能（4日午前）

座長：西村勝治（東京女子医科大学、日本総合病院精神医学会）

成田 尚（北海道大学、日本総合病院精神医学会）

講師：急性期医療における糖尿病専門医の役割（仮題）

堀込充章（佐久総合病院佐久医療センター）

がん診療や在宅診療における循環器内科医の役割（仮題）

安井博規（四ツ橋診療所）

急性期医療における総合病院精神科医の役割：循環器領域を中心に

成田 尚（北海道大学、日本総合病院精神医学会）

○ 地域枠セッション

福井地域：松原病院（松原六郎理事長）、（3日午前）

座長：四方啓裕（福井県精神保健福祉センター医管）

1. 福井県の高い幸福度とその地域的特性 四方啓裕
2. 病院リワークで農業の機能を治療に活かす 小林真実（松原病院）
3. 農医連携の模索と現状 福山佳之（松原病院）
4. 福井市医師会「顔の見える事例検討会とは」 貴志英生（貴志医院）、山本雅之（山本医院）

上越地域：川室記念病院（川室優理事長）、（3日午後）

持続可能な病院医療：“上越市における、コミュニティベース”の実践

座長：川室優（川室記念病院理事長・院長）

テーマ：持続可能な病院医療とは地域に関わり住民と共に歩むこと：上越市における実践活動から

1. 町内での高齢者医療活動の協力支援について 石黒太一（上越市南新保）
2. 病院が地域に提供する地域包括ケアについて：稲作ケアやにっこり手帳・にっこりカフェなど
鳥島佳祐（川室記念病院）、森橋恵子（高田西城病院・新潟県認知症医療疾患センター）
3. 医福農連携による「つくしの里のひまわり活動」について

田邊信（上越つくしの里医療福祉協会）

4. 上越市の高齢者・障害者の地域総合支援活動の現状と課題 大山仁、大瀧早苗（上越市）
5. 稲作ケアを通して地域の包括的共生社会づくり 宇良千秋（東京都健康長寿医療センター）
 コメンテーター 山崎 理（新潟県福祉保健部副部長）
 烏帽子田彰（広島大学名誉教授・和道医療福祉グループ顧問）

久留米地域：久留米大学（内村直尚副学長）（4日午前）

久留米市における

1. うつ病治療医療連携による自殺対策 内村直尚（久留米大学）
2. 子育て支援のネットワーク 酒井陽一（久留米市）
3. 認知症ネットワーク： 小路純央（久留米大学高次脳疾患研究所・
 神経精神医学講座、福岡県認知症疾患医療センター）
4. 小都市における ④糖尿病連携： 赤司朋之（医療法人社団シマダ嶋田病院内科[糖尿病]）

○ 人材育成セッション（指定公募型：4日10:00～12:00、各発表9分）

テーマ：課題解決型高度医療人材養成プログラム（案）

座長：伏見清秀（東京医科歯科大学教授）、平田健一（神戸大学医学部附属病院病院長）

1. P D C A医療クオリティマネージャー養成【医療の質管理領域（医療安全・感染制御）】
 伏見清秀（東京医科歯科大学教授）
2. 経営スペシャリスト養成プログラム【病院経営支援に関する領域】
 亀田義人（千葉大学医学部付属病院病院長企画室特任講師）
3. 『東京大学経営のできる大学病院幹部養成プログラム』の現状と展望 井田有亮（東京大学）
4. 京大病院実践的医療経営プロフェッショナル教育事業の取り組み：経営マインドを備えた若手の育成を目指して
 黒田知宏（京都大学医学部附属病院）
5. 実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOBE）による医療経営人材育成の取り組みとその評価 小林大介（神戸大学大学院医学研究科医療システム学分野医療経済・病院経営学部門）、他
6. 課題解決型高度医療人材養成プログラム「地域医療を支える四国病院経営プログラム」への取り組み
 菅沼成文（高知大学）
7. コンダクター型災害保健医療人材の養成【医療チームによる災害支援領域】
 石井 正（東北大学病院総合地域医療教育支援部教授、災害対応マネジメントセンター
 災害コーディネーター部門長）
8. 北海道大学病院経営アドミニストレーター育成拠点における取り組み
 小笠原克彦（北海道大学大学院保健科学研究院）、他
9. 熊本大学病院 災害医療教育研究センターの取り組み
 内藤久貴（熊本大学病院 災害医療教育研究センター）、他

○ ミニセッション（公募型）3日午前

テーマ：持続可能な地域医療を支える薬局機能

企画・座長：中島範宏（東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

1. 演題1：地域医療とかかりつけ薬局の役割（仮題） 中島理恵（日本大学薬学部薬事管理学的研究室）
2. 演題2：地域における薬剤師・薬局の役割 棟居徳子（早稲田大学社会科学部）
3. 演題3：地域医療の持続可能性の危機（大規模災害時）と薬局の役割（仮題）
 中島範宏（東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

- ミニセッション（公募型，3日午後）：働きやすい病院作りを目指して～産業保健の取り組み～
 座長：和田耕治（国際医療福祉大学 医学部公衆衛生学/医学研究科 公衆衛生学専攻）
 太田由紀（JA北海道厚生連 帯広厚生病院 総務課 産業保健師）
 1. 医師の過労死等と働き方改革 吉川徹（労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所）
 2. 産業医からの心理相談を中心とした報告
 豊永公司（地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 産業医）
 3. 産業医による職業感染対策 荒川梨津子（石巻赤十字病院 産業医）
 4. 産業保健師による腰痛予防の取り組み 太田由紀（JA北海道厚生連 帯広厚生病院）

- ミニセッション（公募型：4日午前）：緩和ケアの質の評価～心不全を中心に～
 企画・座長：濱谷康弘（国立循環器病研究センター）
 心不全緩和ケアquality indicatorの作成について：濱谷康弘（国立循環器病研究センター）
 心不全緩和ケアの質をあげるための国循の取り組み：看護師の立場から
 河野由枝（国立循環器病研究センター）
 質の高い心不全緩和ケアとは？：国循初の常勤心理師の立場から
 庵地雄太（国立循環器病研究センター）

- 注目演題：第57回学術総会のテーマの解決への示唆が期待できる一般演題（一部）

【病院が核となるまちづくり】

- 病院を中心としたまちづくりの実践：病院を飛び出した職員有志団体が地域に関わる意義
 西村和也、寺門貴、鈴木邦彦（医療法人博仁会 志村大宮病院）
- 医療機関を核にしたにぎわい創出の可能性：中標津モデル
 加藤幸治（国土舘大学）
- 医療による地域活性化：仮説構築のためのケーススタディ
 坂口一樹（日本医師会総合政策研究機構）

【地域医療連携推進法人・医療機能の統合】

- 地域医療連携推進法人制度の現状把握の試み 加藤尚子（国際医療福祉大学）
- 「あらお健康手帳」を活用した包括的な地域連携の構築 中村光成（医療法人成風舎西原クリニック）
- 自治体病院における医業収益の関連要因 福田治久（九州大学大学院医学研究院）
- 大学病院の医療連携部門に専任医師を配置する意義と問題点 山口圭三（久留米大学病院）
- 都市部における急性期病院の競争戦略 楠本浩司（大阪警察病院）
- 公立病院における組織能力の規定要因：独法市立病院の比較分析 明石純（関西学院大学）
- 医療の質の改善が病院における生産性に及ぼす影響の研究：済生会病院における実証分析
 三宅講太郎（東京大学）

【医療計画・災害に強い地域づくり】

- 神奈川県における新生児集中治療室及び母体胎児集中治療室の必要病床数の将来推計
 前田光哉（神奈川県健康医療局）
- NDB レセプト情報を利用した二次医療圏設定の試み高塚伸太郎（札幌医科大学）
- 地域枠を考慮した都道府県別医師数の将来推計 鈴木竣平（広島大学医学部）、他
- 救急告示病院の二次医療圏間偏在と平均搬送時間との関係性について 大西遼（東邦大学）他
- 介護を含めた脳血管疾患の都道府県別疾病費用の算出 平田幸輝（東邦大学大学院）、他
- 大震災において重傷者を受け入れる病院の診療圏に関する考察 安藤繁（工学院大学）

自治体による健康行動へのインセンティブ付与事業における住民特性の分析

下野僚子（東京大学総括プロジェクト機構）

【事業承継・社会的投資の科学】

病院建築工事にかかる投資意思決定の実態に関するパイロット・スタディ 田村桂一（一橋大学）

医療機関のファミリービジネスとしての事業承継問題 田中伸（滋慶医療科学大学院大学）

病院の管理部門の現状と課題：期待される役割と改革の方向性 前田美紀（社会医療法人甲友）

【健康経営・働き方改革】

病院組織における健康経営 津野陽子（東北大学大学院医学系研究科）、他

健康経営の取組みが企業業績に及ぼす影響の検証 羽田明浩（国際医療福祉大学）

病院組織におけるストレスチェックにより測定されたストレス反応および職場環境要因と

労働生産性の変化の関連

渋谷克彦（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）、他

病棟別ストレスチェック集団分析結果からみた健康リスク値と労働生産性（パフォーマンス）の関係

高橋由美（公益財団法人日産厚生会玉川病院）

単科の精神科病院におけるパワーハラスメント対策のとり組みと課題

吉野百合（一般財団法人創精会 松山記念病院）

○ International session (oral/poster)

Cong L (Shanghai Health Development Research Center), et al. Assessing the volume change of clinical service items in public hospitals based on the Shanghai data.

Rebeka A (Toho university), et al. Characteristics of hospital standardized mortality ratio of pneumonia-track and compare the trend over years.

○ 第58回学術総会2020（予告セッション：4日午後）

テーマ：データサイエンスで切り拓く医療・病院管理学の未来

企画：鮎澤純子（九州大学・第58回日本医療・病院管理学会学術総会 学術総会長）

お知らせ

■学術総会参加費および情報交換会参加費

○ 事前登録を実施いたします。9月26日（木）までに手続きをしてください（演題登録期限は6月27日）。事前登録はインターネットを利用した オンライン登録のみ です。

本学術総会のホームページより、登録ページにアクセスして、お申し込みください。

○ お支払いは、学会当日に承ります。

○ 今回の学会では、参加受付におきまして、全員の方にお名前・ご所属等のご記載をお願いする予定ですが、事前の参加をご表明頂く事によりまして、このプロセスを省いての、受付でのご案内がスムーズとなります。ぜひ、ご活用頂けましたらと存じます。

○ 懇親会について（割引がありますので、事前登録をお願い申し上げます）

★懇親会で、トーンズの公演があります。お楽しみに！

トーンズ公演：劇場型糖尿病教室（代表：仲元司 佐久市立国保浅間総合病院）

★懇親会で、第12回日本医療・病院管理学会学会賞（論文）の表彰式があります。

★お願い：懇親会場へご参加者の地域の特産品のご持参をお願い申し上げます。当日は新潟県特産品（日本酒を含む）を販売しますので、購入して懇親会会場へご持参いただいても結構です。

- ギャラリー「100歳アート展」
医療法人博寿会本部記念病院（沖縄県本部町）のご厚意により、日頃の作業療法活動で制作された高齢者の造形作品による「希望のカタチ展」を学会場ロビーで開催します。後期高齢者による洗練された作品をお楽しみいただけます。
- 11月3日（日）にランチョンセミナーを予定しております。
- 参加費登録種別 学術総会参加費
 - 会員・第57回学術総会関係者*:10,000円（事前登録、当日）
 - *第57回学術総会関係者は、学術総会ホームページをご覧ください。
 - 一般：（当日のみ）15,000円
 - 学生：（事前登録）4,500円（当日）5,000円
 - 情報交換会（懇親会）参加費（11月3日に開催します）
 - 会員・一般・学生会員ともに（事前登録）3,000円、（当日）5,000円

■ 学術総会優秀演題賞（オーラル賞・ポスター賞）について

- 医療・病院管理学に関する研究の発展、普及等を目的として、2017年度より、本学会員による学術総会における優秀演題への表彰を開始いたしました。
厳正な審査を通じ、学術総会の演題から「優秀演題賞（オーラル賞・ポスター賞）」を選出し、その栄誉をたたえ表彰状を贈呈します。（ただし、代理人がプレゼンテーションを行う場合は受賞対象とはなりません。）

■ 社員総会 2019年11月3日（日）12:00～に、第2回定時社員総会を開催。

■ 学術総会会期中の委員会 下記のとおり開催します。（会場名：日時）

- 学術情報委員会（303：11月2日13:00～15:00）
- 事業委員会（303：11月3日15:00～17:00および4日13:00～15:00）
- 教育研修委員会（303：11月3日8:00～9:00）
- 専門医&コンピテンシータスクフォース、コアメンバー会議（304：11月2日12:00～13:00）
- 教育倫理委員会（303：11月4日8:00～9:00）
- 組織連携委員会（303：11月2日15:00～17:00）
- 国際委員会（303：11月3日13:00～15:00）
- 組織委員会（303：11月2日17:00～18:30）

一般演題募の発表について

一般演題の募集について

演題募集は締め切りました。多数のご登録をありがとうございました。

1. 発表形式について

- 演者は、口演またはポスター（図説）の区分があります。
- 口演における発表時間は、発表7分、討論3分の計10分を予定しています。
- ポスターを添付するパネルのサイズは、横90cm×縦210cmを予定しています。
- ただし、発表会場等の制約のため、最終的な発表形式の決定については学術総会長に一任ください。
発表形式はプログラムの決定後、演者に直接ご連絡いたします。

2. 発表資格

- 従来の発表枠（演者および共同演者は本学会会員に限定）に加え、第 57 回学術総会関連組織の関係者であれば演者及び共同演者として発表できる枠を創設しています。なお、非学会員の発表は学術総会優秀演題賞の選考対象とはなりません。
- 非会員の方は演題申し込み前に日本医療・病院管理学会事務局（TEL / FAX : 03-3515-6475）にて入会手続きをお願いいたします。

3. 演題登録、抄録作成等に関する概要

- 採否の決定に関しましては、学術総会長にご一任ください。
- 個人情報漏洩、倫理上の問題については必ずご確認ください。なお、これらに関しまして問題発生の恐れがあると査読時に判断された演題については、不採用とさせていただきます。
- 下記例を参考に、スライドまたはポスターに、利益相反（COI）に関する状況について開示ください（共同演者を含む）。なお、ランチョンセミナー等も対象となります。
- 採用演題の著作権は、当学会に帰属します。
- 演題採否結果・ご発表セッション情報に関しましては、8 月末を目安に、当大会サイトに掲載させていただきます。

<p>利益相反 (COI) 開示 (例) 【申告すべきCOIがない場合】</p> <p>利益相反 (COI) 開示 発表者名: ○○ ○○</p> <p>演題発表に関連し、 開示すべきCOI関係にある企業・団体等はありません。</p>	<p>利益相反 (COI) 開示 (例) 【申告すべきCOIがある場合】</p> <p>利益相反 (COI) 開示 発表者名: ○○ ○○</p> <p>演題発表に関連し、 開示すべきCOI関係にある企業は下記の通りです。 受託研究・共同研究費: ○○製薬</p>
---	--

VI. 問い合わせ先

学術総会運営事務局 株式会社学会サービス内

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101

TEL. 03-3496-6950 FAX. 03-3496-2150

学術総会用 E メールアドレス: jsha57@gakkai.co.jp

第 57 回学術総会ホームページ URL: <http://www.gakkai.co.jp/jsha57/>